

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 28 年度 第 3 回理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 8 月 12 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：後藤、早川、兼子、高木、浅野、松浦、川島、佐々木、荒井、乙訓、林（泉）、
美濃輪、棚村、市川、帖佐、佐藤、清水、高崎、柴、森、太田

欠席者：舟橋、青木、林（博）

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

一般部門研修会の実習時に岐阜大学の顕微鏡が破損しました。修理代金の請求書が届いたので岐臨技事務所で支払いを進めます。修理代金は 95,353 円。費用内訳は「一般臨床部門」の「修繕費」とします。（高木部長）

一般部門研修会の実習に立ち会い破損状態を確認しました。（兼子会長）

修繕費は一般部門の決算書に加えますか。（帖佐部長）

全体の中の修繕費とします。（兼子会長）

日臨技より資料の送付がありました。内訳は以下のとおりである。（高木部長）

- 1.会費・入会金の送金について…42,000 円（4 名）
- 2.平成 28 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について
（送金合計額 224,500 円）送金の内訳は
 - ：平成 28 年度 春季拡大研修会…50,000 円
 - ：平成 28 年度病理細胞診部門研修会…35,500 円
 - ：第 1 回 中部圏認定病理検査技師企画 病理技師研修会…50,000 円
 - ：初級者向け 尿沈渣検査 ～講義&実習～…45,500 円
 - ：岐臨技 生物化学分析部門研修会…43,500 円
- 3.入会申込書（写）

恵那高校の西原先生から岐臨技義務所に電話がありました。

恵那高校 1 年生を対象とした職業講話で生徒達にどんな職業の方の話を聞きたいか調べた所、臨床検査技師があがり、それでどなたか講師を紹介して欲しいとの事でした。伝手がないので HP を検索して岐臨技にたどり着いたとの事。紹介していただければ、学校側から講師の方へ依頼状を送られるそうです。できれば恵那に近い方を紹介していただきたいそうです。本日講演会の件で東濃地区の市川理事より連絡があり中津川市民病院で担当していただけるそうですが。（高木部長）

中津川市民病院は恵那高校出身の職員が多く、リハビリ科でも同様に職業講話の依頼が来ています。地元ですので受けさせて頂きます。(市川理事)

中津川市民病院の方では是非お願いします。(兼子会長)

後藤理事より岐阜地区からの報告があった。

平成 28 年度「第 37 回ぎふ市民健康まつり」事業計画案についての報告があった。

開催日は平成 28 年 11 月 6 日(日)。時間は午前 10 時から 午後 3 時 30 分。会場は岐阜市文化センター 1 階催し広場で開催される。趣旨は「ぎふ市民健康まつり」市民参加型事業として、医療や健康に関わる団体と岐阜市が協働して、健康に関する知識を深め、体験する場を提供することにより健康づくりを進めることを目的として開催する。本年度も臨床検査技師会活動の一環として【臨床検査コーナー】のブースを設けて参加する。参加団体は医師会、歯科医師会等 12 団体である。臨床検査コーナーでは今年度、尿検査・血管年齢・頸動脈超音波検査を行う。例年であれば各検査コーナーの測定総件数が 1400 名を超える程の規模である。スタッフの募集は 40 名程度(日臨技生涯教育制度：基礎 20 点)を予定している。予算案はダイナパルス(レンタル料・3台)32,400 円、消耗品(ウロペーパーⅢE-UR40 100 枚入×3)9,451 円、食卓費(お弁当代)40,000 円、日当(1,000 円×40 人)40,000 円、の合計支出額 121,851 円を計上した。但し打合せ会議費と前日準備の日当・交通費は含まない。(後藤理事)

頸動脈超音波検査測定機器のレンタルについてはどのようになっているのか。(兼子会長) 東芝に無償レンタル出来るようお願いした。尿検査測定機器についても栄研化学に無償レンタル出来るようお願いした。そのため今回の予算案には計上していない。また検尿カップについては岐臨技事務所に在庫がありこれを使用する。(後藤理事)

スタッフ 40 名による大規模な活動であり、また臨床検査技師会活動の一環でもあり是非ご協力をお願いしたい。(兼子会長)

以上の事業計画案・予算案について本理事会で承認した。

松浦理事より西濃地区からの報告があった。

「平成 28 年度春季拡大研修会」決算書についての報告があった。収入の部は研修会等参加費(96 名分)96,000 円、広告料(5 社)50,000 円、研修会等協賛金(2 社)120,000 円、日臨技助成金 50,000 円の合計額 316,000 円であった。当初の見込みでは 110 名の参加を予定し参加費を 110,000 円計上していたので収入予算案より 14,000 円下廻った。支出の部は印刷製本費(製本費 97,200 円、印刷費 71,604 円、*製本費はカラー印刷も加わったため当初予算案より 19,440 円上廻った)、支払負担金(会場費 68,650 円、振込手数料 216 円、食卓費 113,400 円、*会場費はエアコンの使用により電気代が高くなり当初予算案より 8650 円上廻った)、消耗品(文具 0 円)、諸謝金(講師謝礼 110,000 円、講師旅費交通費 35,637 円)、通信運搬費(配送料 1,460 円)、会議費(日当 24,000 円、旅

費交通費 12,800 円、食卓費 9,720 円)、学会運営(食卓費 1,817 円)で合計支出額 546,504 円となり、収支額は-230,504 円であった。(松浦理事)
支出予算案の合計額はどれくらいでしたか。(兼子会長)
支出予算案の合計額は 523,864 円でした。(松浦理事)
以上の決算内容について本理事会で承認した。

松浦理事より「平成 28 年度大垣市健康広場」企画書についての報告があった。

開催日は平成 28 年 10 月 16 日(日)。場所は大垣城ホール。時間は午前 9:30 から午後 15:00 となっている。

活動内容は

- 1) 血管年齢測定(フクダ電子、ダイナパルス 2 台を使用し血管年齢を測定)
- 2) 骨密度測定(日本光電、ビーナス 1 台)を使用し骨密度を測定)
- 3) 血管・血液検査についての説明(パネル、リーフレットを使用し色々な血液検査について知ってもらう)
- 4) 成人病予防について(パネル、リーフレットを使用し予防を促す)

の 4 項目を予定している。(松浦理事)

以上の企画内容について本理事会で承認した。

松浦理事より「平成 28 年度大垣市健康広場」予算案についての報告があった。

内訳は血管年齢測定(フクダ電子、ダイナパルス 2 台レンタル) 32,400 円、骨密度測定(日本光電、ビーナス 1 台レンタル、記録紙 10 ロール) 22,550 円、配布物・その他(ポケットティッシュ 250 個、除光液、綿花、ゼリー、袋等) 2,600 円、人件費(1,000 円×10 名) 10,000 円、スタッフは 10 名を予定しており人選は各施設でお願いしている。交通費(600 円×12 名) 7,200 円、弁当代(1,000 円×12 名) 12,000 円、で合計支出額 86,750 円となった。9 月に大垣市健康広場の打ち合わせ会議を予定している。(松浦理事)

大垣市民病院からは毎年スタッフ 2 名を派遣しているためスタッフの合計は 12 名である。但しこの 2 名については人件費を出していないため予算案は人件費を 10 名で計上している。(浅野副会長)

以上の予算案について本理事会で承認した。

荒井理事より飛騨地区からの報告があった。

「第 27 回高山市市民健康まつり」参加企画書についての報告があった。

開催日は平成 28 年 10 月 2 日(日曜日)。時間は午前 10 時から午後 2 時半まで。会場は高山市保健センター 1 階。昨年の実績は参加数 39 団体、来場者数 2600 名であった。検査コーナーは今年度、血管年齢測定(ダイナパルス 2 台)と骨密度(ビーナス α 1 台)を予定している。血管年齢測定は加速度脈波から血管の状態を算出し血管年齢を判定す

る。骨密度測定は足底（裸足）にゼリー状ゲルソニックを介して超音波により骨稜面積率を測定し骨年齢を判定する。必要物品として各検査コーナーの整理券（人数制限のため併せて午前 80 枚・午後 80 枚の予定）、長机・椅子（高山市の備品を使用）、検査説明資料 100 枚、来場者配布用ポケットティッシュ 100 個（岐臨技チラシ入り）を用意する。スタッフの人数は当日 15 名を予定している。実行委員は飛騨地区理事、荒井・舟橋・佐々木の 3 名が担当する。（荒井理事）

以上の企画内容について本理事会で承認した。

荒井理事より「第 27 回高山市市民健康まつり」支出予算案についての報告があった。

内訳は血管年齢測定器（フクダ電子、ダイナパルス 2 台レンタル）30,000 円、骨密度測定器（日本光電、ビーナス α 1 台レンタル）22,500 円、人件費（1,000 円×15 名）15,000 円、交通費（距離換算×15 名）11,500 円、弁当代（1,000 円×15 名）15,000 円、お茶代（100 円×15 名）1,500 円で合計支出額 95,500 円となった。配布物のポケットティッシュは岐臨技事務所に昨年度の余りがあり、それを使用するため支出予算に計上していない。（荒井理事）

以上の支出予算案について本理事会で承認した。

市川理事より東濃地区からの報告があった。

7 月 21 日に「平成 28 年度秋季拡大研修会」実行委員会準備会議を多治見市民病院で行った。参加者は東濃地区理事、棚村・美濃輪・市川・柴の 4 名であった。（市川理事）

市川理事より「平成 28 年秋季拡大研修会」第 1 回実行委員会についての報告があった。

平成 28 年秋季拡大研修会、第 1 回実行委員会を 8 月 3 日に開催した。実行委員のメンバーは実行委員長：市川 浩良（中津川市民病院）、事務局：棚村 一彦（多治見市民病院）、美濃輪 縁（県立多治見病院）、柴 千春（岐阜県産業保健センター）、実行委員：梅本 知佳（県立多治見病院）、久保田 仁志（多治見市民病院）、兼平 昌彦（土岐総合病院）、渡邊 常夫（東濃厚生病院）、伊藤 三穂（私立恵那病院）、梶川 裕司（中津川市民病院）、原 文明（坂下病院）の 11 名で今後準備を進めていく。進捗状況について、開催日は 2016 年 11 月 13 日（日）、開催時刻は午前 9:30 より（受付開始は午前 9:00 より）会場はセラミックパーク MINO 1F 国際会議場で行われる。演題項目は微生物・遺伝子部門でありテーマは「肺炎」である。微生物部門の講師には東濃厚生病院副院長 柴田 尚宏先生にお願いした。遺伝子部門の講師には江南厚生病院臨床検査技術科 河内誠先生にお願いした。演題は「迅速・確実な肺炎診断への挑戦」。市民公開講座はフクダライフテックより紹介していただき中部大学生命健康科学研究所特任教授、宮崎 総一郎先生にお願いした。演題は「睡眠と健康—ぐっすり眠って認知症予防—」。広告掲載・賛助会員については（井上精機㈱、八神製作所、BML、日本光電、東芝メディカル、積

水メディカル、デンカ生研)の7社に選定した。講演内容が決まり次第「趣意書」を送付する予定である。ランチョンセミナー講演はシスメックスと栄研化学に依頼した。こちらも講演内容が決まり次第「趣意書」を送付する予定である。
以上の企画内容について本理事会で承認した。

市川理事より平成28年度秋季拡大研修会予算書(案)についての報告があった。

収入の部は広告料7社(10,000円×7社)70,000円、研修参加費(100名予定×1000円)100,000円、ランチョンセミナー(50,000円×2社)100,000円、日臨技助成金50,000円で合計予算額320,000円。支出の部は印刷・製本代150,000円、文具5,000円、謝礼金(交通費込50,000円×3名)150,000円、食卓費(1,080円×100名)108,000円、会議費50,000円、会場費49,000円で合計支出予算額512,000円。収支額が-192,000円である。(市川理事)

微生物と遺伝子の各部門長より講師の件について市川理事に相談したとの連絡があった。
(帖佐部長)

微生物と遺伝子の各部門長には講演して頂く講師をお伝えした。(市川理事)

講師謝礼金150,000円(交通費込50,000円×3名)についてこれでいいか確認してください。(兼子会長)

わかりました。(市川理事)

予算案支出部門の食卓費が消費税別で1,000円(1人)となっているが、ぎふ市民健康まつりでは消費税込みで1,000円(1人)として計上している。(後藤理事)

特に規定はないができれば安く上げていただきたい。(兼子会長)

以上の予算案について本理事会で承認した。

帖佐学術部長より学術部からの報告があった。

新人サポート研修会の参加報告と会計報告があった。

参加人数は一般会員70名、会員講師7名、非会員10名、学生33名、合計120名であった。収入の部は一般会員参加費が(1000円×70名)70,000円、非会員参加費(1,000円×10名)10,000円、日臨技助成金50,000円で合計収入額130,000円であった。支出の部は会場警備費(23,400円)、弁当・お茶(130食×1,000円)130,000円、振込み手数料324円、会員講師日当(7名)21000円、会員講師交通費(7名)6,500円、実務委員日当(8名)8,000円、実務委員交通費(8名)14,420円で合計支出額203,644円であった。収支額は-73,644円となった。(帖佐部長)

以上の会計報告について本理事会で承認した。

岐臨技会員講師における支払料金改訂案について部門長会議で1時間以上は3,000円、30分以上1時間未満は2,000円、30分未満は1,000円とする案が多数を占めた。これに

については第1回常務理事会で9月より施行することで承認した。(帖佐部長)

講師料は活動費に含まれるのか。(兼子会長)

実務委員が講師を兼ねる場合は講師料の中に活動費が含まれている。(帖佐部長)

常務理事会で決定した講師料については各部門長に連絡をした。(帖佐部長)

以上岐臨技講師支払い料金について本理事会で承認した。

平成28年度岐臨技研修会では外部講師として岐阜大学医学部付属病院 副看護師長(感染管理認定看護師)に講師を依頼した。謝礼金については第1回常務理事会で15,000円とすることで承認した。例として…技師長20,000円、副技師長・副看護師長15,000円・技師10,000円とする。今後これで統一する。(帖佐部長)

以上、外部講師謝礼金について本理事会で承認した。

佐藤部長より精度管理事業の報告があった。

平成28年度精度管理事業の進捗状況について説明があった。

第2回精度管理事業最終打ち合わせ会議を8月19日(金)の18時30分から21時30分で行う。会場は岐臨技事務所であり16名の参加を予定している。今年度は役員の総入れ替えがあったため第1回会議を4月15日に開催した。資料の発送作業は8月28日(日曜日)、9時30分から16時00分の間で完了する予定である。発送作業会場は岐阜市民病院とする。今年度の変更点は

- ① 採血時、医師への謝礼金は受け取らないため菓子折りに変更する。
 - ② 例年資料の溶血が問題となったため、HbA1cのプール血球は使用せず当日部員2名による全血を使用する。正常域2本のためツインプロットによる評価は困難となる。
- 発送作業当日の参加人数は18名を予定している。精度管理調査の参加状況については昨年度より2施設増え76施設となった。また4施設に基本料金の参加漏れがあったため各施設に連絡し修正した。生理検査・心電図設問に関しては県総合医療センターより倫理的な問題で設問作成依頼書が必要であるとの連絡があり、兼子会長に確認していただき発送した。フォトサーベイ等個人情報が含まれる可能性のある設問は、今後依頼書が必要になると思われるので対応していきたい。(佐藤部長)

以上の事業報告について本理事会で承認した。

清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成28年度「検査と健康展」についての説明があった。

日時は平成28年11月20日(日曜日)、9時～17時の予定。当初会場を予定していたマーサ21からの回答が7月の段階で未定であるとの返信があり、止むを得ず会場をアルプラザ鶴見(大垣市鶴見町)へと変更した。場所は1階ドラックストア前の開きスペースを予定している。但し10月までにテナントが入った場合、2階フードコート前のスペース

スに変更する。会場費は1階の場合は30,000円、2階の場合は20,000円となる。次回の岐臨技郵便物で実務委員募集の案内を送る予定である。各部門の企画は現時点では生理検査部門（エコーを用いた検査）、血液検査部門（パネル展示）、病理細胞診部門（口腔内細胞観察）、輸血細胞治療部門（パネル展示）、臨床検査総合部門（健康相談コーナー）となっている。各部門で必要な物品は現在準備、確認中である。（清水部長）

本理事会確認事項として

- 1) 先方からの要望で新聞など取材書きがあった方がよいのではとの要望があった。理事でどなたか紹介していただけるようであれば教えていただきたい。
- 2) ホームページや広告の宣伝欄にスペースがあれば載せて頂けるようであり、広報部に昨年度の写真があればお願いしたいと思う。
- 3) 現行の開催時間（9時～15時）を夕方買い物客が増える時間に合わせ「9時～17時」まで延ばして欲しいとの要望があった。（清水部長）

17時まで延ばす方向でいきましょう。皆さん宜しく願います。（兼子会長）

会員の皆様には臨床検査技師紹介（DVD）や健康チェックの作業と企画運営をお手伝いしていただきたい。募集人員数は10名程度予定している。交通費と昼食費は支給する。申込方法は氏名、施設名、メールアドレス、当日連絡可能な電話番号を記入の上、kensa@ogaki.tokushukai.or.jpへ送信してください。申込締切りは10月1日。理事の皆様、よろしく願います。（清水部長）

是非皆さん参加してください。（兼子会長）

健康相談コーナーの検査医の先生は17時まででは可能でしょうか。（森監事）

検査医の先生は17時までは無理だと思いますので、その場合健康相談コーナーは15時までとし、残りのコーナーは17時まで行います。（清水部長）

以上の企画内容について本理事会で承認した。

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

平成28年8月20日発行の岐臨技会報が完成したので理事の皆様を確認していただきたい。会報は20日の発送予定である。日本医学検査学会の案内については兼子会長からの資料をもとに投稿したので演題発表予定者等のチェックをお願いしたい。今後の予定は次回発行が10月20日（9月1日記事の依頼、9月末日締切り、10月の理事会で承認、10月20日発行）である。10月は全国学会の報告をしたい。検査と健康展は10月の発行に間に合わないため12月の発行に廻す予定である。（高崎部長）

以上の内容について本理事会で承認した。

柴部長より渉外部からの報告があった。

平成27年度公益目的支出計画実施報告書を6月22日に県へ提出。7月11日に一か所の訂正依頼を受けたが、訂正後再提出し7月12日に県より確認完了の報告を受け、受

理された。平成 27 年度は当初の計画通りであり、公益目的支出計画の完了見込みは平成 36 年 3 月 31 日となった。(柴理事)

公益目的支出計画とは公益法人から社団法人に移行後、県から岐臨技の資産を総て使うようにとの指示を受け、そこで岐臨技としても財産の使用目的とした技師会活動(県学会・地域拡大研修会・健康イベント)を行っていき今後 10 年間かけて今までの資産を使い切る計画を進めている。(兼子会長)

乙訓部長より会計部からの報告があった。

5 月分の収支報告について、収入額 733, 211 円、支出額 894, 147 円であり収支額が、-160, 936 円となった。会計業務は問題なく進行している。(乙訓部長)

5 月期の残高はどれ位になりましたか。(兼子会長)

5 月期までの総決算が-519, 524 円であり、残高 7, 120, 976 円となった。(乙訓部長)

6 月分も会計部で確認が終わりましたので次回理事会で報告します。(兼子会長)

森監事より検査説明相談ができる臨床検査技師育成講習会についての決算書及び報告書・アンケート集計などの報告があった。

平成 26 年から 3 年間、日臨技の事業として検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会が開催された。開催場所は岐阜大学医学部附属病院・多目的ホール。今年が 3 回目となり平成 28 年 7 月 23 日と 7 月 24 日の 2 日間で開催された。参加人数は 35 名であった。収支決算では昨年がマイナスであったため今年は会議等をメールで行い会議費・消耗品・雑費を削減し差引がプラスとなった。収入は日臨技助成(固定額) 200, 000 円、日臨技助成(受講者 35 名) 35, 000 円、受講者料収入(受講者 35 名) 350, 000 円で合計額 585, 000 円であった。支出は印刷費・人件費・旅費宿泊費・会議費・消耗品・雑費等で合計額 504, 115 円であった。収支額は+80, 885 円となった。講習会終了後 2 週間以内に日臨技事務局・都道府県技師会事務局へ報告した。報告内容については 1 回目の講習会で日臨技のビデオ講義が多いというクレームがあり、そのため 3 回目の講習会では「なぜやらなければならない」という目的について東京の奥田先生に講義を依頼し熱く語って頂き、最終的に参加された方々にアンケートを取ったところ、アンケートの集計結果では(講習を受けてどうでしたか?)(受講料はどうでしたか?)(ビデオ講義形式はどうでしたか?)(ロールプレイ体験はどうでしたか?)についてよかったとの回答が多かった。また講義内容についてもよかったとの回答が多かった。今後検査説明相談が出来そうであるという意見も増え、昨年と比べいろいろな方々に影響を与えることができ良かったと思う。開催にあたり多くの方々のご協力を頂き、ありがとうございました。(森監事)

臨床検査技師がロングスパンで自立していくためにも一人一人が意識を高め、業務を拡大しつつ知名度を上げる努力をしていかなければならない。岐臨技としても引き続

きご支援いただきたい。(兼子会長)

3年間で参加人数の合計は何人になりましたか。(帖佐理事)

参加人数の合計は94名となり目標とする岐臨技会員の10%を達成した。(森理事)

以上、臨床検査技師育成講習会の報告内容について本理事会で承認した。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 太田 義和 

議事録署名人 森 さゆり 